

平成28年度事業報告書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

公益目的事業1 平和普及啓発事業

1. 講演会等の普及啓発

(1) 2016年度財団フォーラム

開催日 平成28年11月29日(火)
場 所 東京都千代田区 日経ホール
テーマ 「一人一人の輝きが未来をつくる」
参加者 日経ホール 約550名 14カ国の大使館
内 容 開会挨拶 理事長
国際ユース作文コンテスト授賞式と発表
「より良い未来をつくるための教育」
五井平和賞授賞式ならびに受賞記念講演
民主化活動家、政治家 ハフサット・アビオラ=コストロ
トークセッション「これからの平和と民主主義を考える」
ハフサット・アビオラ=コストロ、野中ともよ、会長、理事長

(2) 東京講演会

「講演会シリーズ：21世紀の価値観」

① 第46回講演会

講 師 前野隆司 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科委員
員長・教授
開催日 平成28年6月28日(火)
場 所 東京都渋谷区 東京ウィメンズプラザ
テーマ 日本から幸せと平和を発信しよう
参加者 153

② 第47回講演会

講 師 新井和宏 鎌倉投信株式会社 取締役 資産運用部長
開催日 平成28年9月15日(木)
場 所 東京都渋谷区 東京ウィメンズプラザ
テーマ これからの社会に必要とされる会社とは
参加者 126名

③ 第48回講演会

講 師 副島賢和 昭和大学大学院保健医療学研究科准教授、ホスピタル・クラウン
開催日 平成29年3月13日(月)
場 所 東京都千代田区 いきいきプラザ一番町カスケードホール
テーマ 病気の子どもに教育は必要ですか？
～院内学級の子どもたちが教えてくれた大切なこと～
参加者 131名

(3) 2016年度五井平和財団会員総会「報告と感謝の集い」

開催日 平成28年9月22日(木・祝)

場所 福島市市民会館 第2ホール(福島市)

参加者 賛助会員・一般 約45名

内容 財団のビジョンと事業報告、参加者と財団職員のグループ別懇談など

(4) 賛助会員活動の推進

①ボランティア活動

ーコミュニケーター制度

コミュニケーター通信 Vol.25~Vol.27 発刊

ー地方懇談会

9月6日(火) 岡山市 11名

2月25日(土) 宮崎市 16名

2月26日(日) 大分市 17名

②Living New ワークショップ

人が輝ける生き方を応援し、人と人、人と社会をつながげながら、新しい未来をつくっていくプロジェクト

○あるがままの自分を知る・気づく・見つめる場の提供

○人の在り方、考え方、感じ方の多様性を共感、共有する場の提供

○自分の特性を社会に活かすサポート

オープンカフェ東京 2016年7月30日(土) 17名

2017年1月28日(土) 27名

LNコース 第7期 6名

3月19日(土)、4月2日(土)、4月16日(土)

4月23日(土)

第8期 5名

9月10日(土)、9月24日(土)、10月8日(土)、

10月22日(土)

LNコース修了生の会

7月29日(金) 12名 プログラムプレゼン

8月27日(土) 21名

(5) 国際理解に資する交流事業

①国連・ユネスコとの交流事業 <詳細は公益目的事業2の項目4で報告>

・ユネスコ ESD-GAP パートナー・ネットワーク参画

*ESD(持続可能な開発のための教育: Education for Sustainable Development)

*GAP(ESDに関するグローバル・アクション・プログラム: Global Action Program)

②国際機関との交流事業

国際自然保護連合(IUCN)主催「第6回世界自然保護会議」

9月1日~10日 ハワイ・ホノルル開催

9月2日、4日 ナレッジ・カフェで会長、理事長による「富士宣言」

プレゼンテーション

9月5日 ハイレベル・ダイアログ「つながり:精神性と自然保護」会長スピーチ

*国際自然保護連合(IUCN):1948年スイスに発足し、国家、政府機関、非政府機関で構成される自然保護に関する世界最大の国際的な自然保護機関。日本政府も加盟

- ③ ヨーロッパ拠点活動
 ヨーロッパ代表（ミュンヘン）における財団事業の展開
 国連、パリユネスコ本部等国際機関との窓口

- ④ワールド・ピース・プレーヤー・ソサエティ（姉妹団体）日本オフィス活動報告
- 第24回広島ピースセレモニー
 8月6日（土） 広島市原爆ドーム東側広場
 約500名の参加者
 西園寺理事長メッセージ代読、財団より職員派遣
 - 第18回長崎ピースセレモニー
 8月9日（火） 長崎平和公園
 約200名（26カ国）の参加者
 西園寺理事長メッセージ代読、財団より職員派遣
 - 国際平和デー ピースポール除幕式典
 9月21日（水） ポーランド・ワルシャワ市モコトフ区
 駐ポーランド松富重夫日本国大使スピーチ
 マリオラ・ラチコ国連情報センター所長代理によるバン国連事務総長の
 メッセージ代読
 五井平和財団事務局長スピーチ
 - 賛助会員平和普及自主活動

2016.4.10	岡山県津市のサムハラ神社にて、ピースポールの除幕式、WPPC,合気道の奉納演武。
2016.4.16	ロシアのバイカル湖に浮かぶオリホン島のワール村のホテルにピースポール建立。地元のブリヤート族と交流。
2016.4.18	ロシアのイルクーツク、マリオットホテルにピースポール建立。バイカル博物館、ズナメンスキー修道院、ロシア正教の大主教座が置かれる教会などに卓上ピースポールとピースドールをプレゼント。
2016.4.22	京都市大徳寺保育園にて、13年目13回目WPPCを開催。園児が旗手として参加。
2016.4.28	ネパールのエベレスト・トレッキングで、エベレスト街道沿いに4か所でピースポール建立。各エベレスト・ゲストハウス、モンジョ・ゲストハウス、カアングテンガ・ビューロッジ、ナマステ・ロッジにて。
2016.5.1	福岡市糸島の桜井神社にピースポール建立
2016.5.4	スペインマドリードの学校3校にて、ピースポール建立、富士宣言を読み上げた。Colegio H Amoros 学校、Escolapios De Alnche 学校、Escolapios De Getafe 学校にて。各学校は、幼稚園、小中学校で3000名規模。所要3日間
2016.5.5	ブータンのティンブー日本語学校でWPPCを開催。
2016.5.5	ブータンのプナカの小学校でWPPCを開催。
2016.6.1	オーストリアのヴァルトハウゼン市にて、30校の学校がピースポール建立。地元のピースローズ賞発表式がきっかけ。
2016.6.18	スコットランドのアラントン・サンクチュアリにてワールドピースフェスティバル開催。WPPC実施。日本のボランティアの寄付を集めて、ピースポールで作った、ストーンヘンジ様式の設備のお披露目となった。
2016.6.21	福岡市赤レンガWPPC(月例)参加者10名
2016.6.3	ダボス会議会場となるヘルス・リゾート・パークに地元の文化団体主催がピースポール建立
2016.6.30	東京のスーダン大使館にてピースポール贈呈。アマド大使出席。
2016.8.5	台湾の台東県、龍田村に鹿野神社が84年ぶりに再建されたというニュースを知りピースポールを贈呈、建立。

2016.8.6	広島大仏が縁あって今、奈良の極楽寺に安置してある。広島 WPPC にリンクした WPPC を行った。
2016.9.11	平和の樹岡山が、広島県の宮島山頂で WPPC(ピースウィークの一環)
2016.9.17	平和の樹岡山が、岡山県の北木島で 3 日間にわたり WPPC とピースコンサート(ピースウィークの一環)
2016.9.21	岡山市内にて、韓国 YMCA フリースクールの子どもたちと日本の高校生、大学生が「子どもサミット」で交流。(平和の樹岡山主催)ミニフラッグセレモニー(職員派遣)
2016.9.21	鎌倉駅前で国際平和デーWPPC 開催 (世界平和の響きグループ主催)
2016.9.22	岡山市中心部で、フラッグセレモニー、ピースパレード、ピースコンサートを開催(平和の樹岡山主催)(職員派遣)
2016.9.22	秋分の日のリレーWPPC 開催。国内 16 か所、119 名、海外 15 か国、26 か所から参加
2016.10.17	国連本部にて 10 日間、ピースパル国際アートコンテスト展を開催
2016.10.22	八王子市の大栗川沿いで開かれたキャンドルリバーに WPPS ブースを出展。紙コップに May Peace のメッセージを書いてもらい、キャンドルでライトアップ。
2016.10.23	第 9 回札幌オープンカレッジにて WPPC を開催。
2016.10.30	姫路国際交流フェスティバルの於いて石見姫路市長、石田姫路氏国際交流文化財団理事長、飯島姫路市福祉協議会理事長臨席のもと約 70 名の参加にて WPPC を開催。その後市街地でピースパレードを行った。
2016.10.31	韓国氷川市の友人の別荘にピースポール建立。会員 5 名と韓国の方 2 名参加。
2016.11.17	ジンバブエ大使館にてピースポール建立。アブーバスツ大使出席。ジンバブエの公用語であるジョナ語、ンデベレ語、英語の特注ピースポールを贈呈したもの。
2016.11.29	アメリカのサイパン島のセント・ヴィンセント教会のミサの中で WPPC を行った。3 本のピースポールをメンテナンス。卓上ピースポールを 3 本贈呈。
2016.12.10	沖縄県、名護市の作業所、「ぬぶていーだ」を訪問。五井平和財団沖縄グループの 8 名で WPPC を開催し、ピースポールを建立。「名護市議会議長の屋比久稔氏ら約 40 名の参加。ピースドール 200 体、ピースグッズ 100 個をプレゼント。
2016.12.13	岡山県玉野市立山田中学校にて、「岡山ユネスコ協会」と「平和の樹」協働による第二回出前授業を実施。1 年生 28 名の総合学習の時間に韓国出身の曹永姫(チョ・ヨンヒ)さんのお話しと踊り紹介等他。その後 WPPC を行った。
2016.12.14	ネパールのギャノダヤ・ボーディング・スクールにて、WPPC を開催。全校生徒 50 名参加、鉛筆と卓上 PP とピースドールをプレゼントした。
2016.12.21	冬至の日のリレーWPPC 開催。国内 31 か所、137 人、海外 5 か国、22 か所が参加
2016.12.22	徳島市の大山祇神社にピースポール建立
2017.2.9	徳島市の若宮神社にピースポール建立
2017.2.17	コソボのスケンデライ市に同国初のピースポール建立。市長出席
2017.3.21	春分の日のリレーWPPC 開催。国内 41 か所、59 人、海外 21 か国、181 か所が参加

(6) 「富士宣言」推進 (パートナー組織および事務局として)

① 『富士宣言』ソウル・オブ・ウィメン・グローバル・ネットワーク会合

日時：5月13日(金)

会場：国際文化会館

参加者：国内外の様々な分野のパイオニア23名

プログラム：

「富士宣言」発起人挨拶

ソウル・オブ・ウィメンについて

参加者紹介

グループセッション

全体セッション

ネットワーキングランチ

②ソウル・オブ・ウィメン・グローバル・キャンペーン

21日間チャレンジ「Spark Your Spark」

「ソウル・オブ・ウィメン」ウェビナー(インターネット上で行うセミナー)

③3団体による新しいパラダイムリーダーのためのイニシアティブ

新しいパラダイム調査のためのラズロ研究所、ファウラー・センター、
クォンタム・リーダーシップ・センター主催

場所：イタリア・トスカーナ

7月15日(金) ビジネスにおける新しいパラダイムとリーダーシップ」

16日(土)「人間の意識の本質の研究」

会長・理事長が富士宣言を紹介

④富士宣言パートナー団体と「コンシャス・ビジネス・アライアンス」設立

五井平和財団、ヒューマニティ・チーム、ファウラー・センター共催

コンシャス・ビジネス・デklarレーション

コンシャス・ビジネス・デー

コンシャス・ビジネス認証

(7) 各種情報媒体の活用

①機関誌「平和の創造」発行

季刊 各約5,000部作成と発送

活動報告、新しい方向性、イベント情報等を掲載

②WPPS ニュース発行

季刊 各約5,000部作成と発送

ピースメーカーの活動報告、キャンペーン情報等を掲載

③インターネット・ソーシャルネットワークサービス(SNS)

<五井平和財団>

ウェブサイト刷新、フェイスブック(日英)定期更新

YouTube公式チャンネル(日英)

Flickr(フリッカー：オンラインアルバムサービス)

メールマガジン(日英)発刊

<ESDユース>

ESD日本ユース・コンファレンスウェブサイト/フェイスブック(日英)定期更新

ESDユース参加者運営のSNS

「ESD日本ユース情報局」フェイスブック/ツイッター

ESDユース地区ごとのLINEグループ

<地球っ子広場>

フェイスブック定期更新

<ユース・社会起業家コンペティション>

オンライン・コンペティション

オンライン・キャンパス

<富士宣言>

ウェブサイト／フェイスブック（日英）定期更新

メールマガジン／ツイッター（日英）発刊

<Living New>

ブログ定期更新

<平和科学調査研究会>

ウェブサイト（会員制）

<WPPS>

ウェブサイト／フェイスブック定期更新

メールマガジン／ツイッター発刊

④各種行事の動画配信

・2016年度 五井平和財団フォーラム

「一人一人の輝きが未来をつくる」

・2016年度 平和の文化特別賞授賞式

カザフスタン共和国ヌルスルタン・ナザルバエフ大統領

⑤各種行事のDVD制作

・2016年度会員総会DVD

・2016年度五井平和財団フォーラムDVD

⑥教材

“Education to Build a Better Future for All”

(ESD 英語教材としてまとめた作文コンテスト受賞作品集)

2. 顕彰と助成

五井平和賞 **ハフサット・アビオラ＝コストロ**
民主化活動家、政治家（ナイジェリア）

ハフサット・アビオラ＝コストロ氏は、アフリカの真の民主化の実現を目指して活動する民主化運動家です。そのビジョンは、女性も男性も等しく、全ての人が自らの輝きを見出し、互いにつながり合い、地球全体を明るく照らし出していく社会です。

アビオラ氏は、ナイジェリアの民主化運動を先導し、命を落とした両親の遺志を継ぎ、女性の社会参画の推進やリーダーシップの育成など、20年に亘り一貫して女性の支援を続けてきました。また、過激派組織ボコ・ハラムが世界的に報道される以前から危険地域に赴き、女性たちの連合を立ち上げ、暴力に対して正義の声を上げてきました。

ビジョンあるリーダーシップで、自国の女性のみならず、公正で調和した社会を目指す世界の人々に勇気を与え、不屈の精神で真の民主社会への道を切り開いてきたアビオラ氏の功績を称え、五井平和賞を授与するものです。

■授賞式 平成28年11月29日（火）2016年度財団フォーラムで実施

■選考委員

委員長	佐藤 禎一	東京国立博物館名誉館長・元ユネスコ特命全権大使
	明石 康	公益財団法人国際文化会館理事長・元国連事務次長
	有馬 朗人	日本科学技術振興財団会長・物理学者・元文部大臣
	近衛 忠輝	日本赤十字社社長
	西園寺昌美	五井平和財団会長
	田坂 広志	多摩大学大学院教授・シンクタンク・ソフィアバンク代表
	村上 和雄	筑波大学名誉教授・国際科学振興財団バイオ研究所所長

＊敬称略・50音順

「平和の文化」特別賞 **ヌルスルタン・ナザルバエフ**
カザフスタン共和国大統領（カザフスタン）

ナザルバエフ大統領は、456回におよぶソ連の核実験が行われた核実験施設の閉鎖を、国家独立に先立つ1991年に決定。独立後は、ソ連から受け継いだ全核弾頭1,150発（世界第4位）を放棄し、13の放射線危険対象施設を閉鎖。以来、国の基本戦略を「相互協力と信頼醸成」とし、近隣国との中央アジア非核兵器地帯条約締結、包括的核実験禁止条約（CTBT）を積極的に支援するなど、核なき世界の実現に向けて、国際社会に核不拡散、核軍縮、核兵器廃絶を強く訴え続けてきました。また、「世界宗教指導者会議」を開催するなど、多文化共生と多宗教間の対話を促進するためのイニシアティブを展開してきました。こうした25年の長きに亘る、「平和の文化」の創造に向けた功績とリーダーシップを称えるものです。

■授賞式 平成28年11月8日（火）迎賓館赤坂離宮で実施

3. 研究会等の調査研究

(1) 平和科学調査研究会

①全体会 2回開催

－調査研究成果発表会

7月24日 参加40名

第2フェーズ総括

－各分科会成果発表

2017年2月11日 参加25名

第3フェーズのテーマ（つながり）発表

②運営委員会 2回開催

全体会、分科会の方針、プログラム等討議決定

2016年7月5日、2017年2月7日

③分科会活動

○幸せの価値観：情報収集、調査資料ジャンル別整理等

○ESD・教育：地球っ子広場にみる現場教育のメソッド調査

○震災復興：震災から考える日本の未来と自然について調査

○科学的事例調査：がん治療事例、宇宙太陽光発電等調査

○平和へのシナリオ：平和へのプロセス研究・ディスカッション

○自由研究：最先端物理学理解に向けた基礎理論の直観的把握

公益目的事業 2 平和教育事業

1. 国際交流プロジェクト

- (1) 群馬県立女子大学連携講座「国際理解と平和」
 平和について考える大使リレー講座
 通期火曜日 計15回開催

開講日	講師（敬称略）	テーマ
4月26日	公益財団法人 五井平和財団 理事長 西園寺 裕夫	平和の創造
5月10日	フォトジャーナリスト 安田 菜津紀	写真で伝える世界の「今」 －貧困、災害、難民問題－
5月17日	駐日ベネズエラ・ボリバル共和国特命全権大使 セイコウ・ルイス・イシカワ・コバヤシ 大使夫人 エリカ・コロン・デ・イシカワ	Message of Peace and Hope from Venezuela
5月31日	特定非営利活動法人 国境なき子どもたち 会長 寺田 朗子	私の出逢った子どもたち
6月7日	駐日ザンビア共和国特命全権大使 ンディオイ・ムリワナ・ムティティ	Cultural Diversity in Globalized World
6月14日	認定 NPO 法人 日本紛争予防センター理事長 瀬谷ルミ子	紛争地に平和を築く方法: グロー バルに働くということ
6月21日	駐日イスラエル国大使館次席公使 イリット・サヴィオン・ヴァイダーゴルン	女性が輝くイスラエル
6月28日	駐日インドネシア共和国特命全権大使 ユスロン・イーザ・マヘンドラ 大使夫人 デヴィ・ルシアナ・イーザ・マヘンドラ	Indonesia in a Nutshell
7月12日	駐日パラオ共和国特命全権大使 フランシス・マツタロウ	Palauan Traditional Governance and Rule of Conduct
10月11日	駐日ロシア連邦特命全権大使 エヴゲーニー・ウラジミロヴィッチ・アフアナシ エフ	ロシアの現代外交と日本
11月8日	駐日パレスチナ大使／常駐総代表 ワリード・アリ・シナム	Palestine Position on the Permit issues
11月15日	元国際連合事務次長 明石 康	国連職員第一号の思い出
11月22日	外務省企画調整課 首席事務官 田口 一穂	日本の国連外交、外務省や国際機 関で働くには
11月29日	外務省経済局国際経済課 首席事務官 松浦 直子	外交面での女性の活躍
12月13日	駐日エルサルバドル共和国特命全権大使 マルタ・リディア・セラヤンディア・シスネロス	エルサルバドル：中米の日本

(2) 駐日外交官による交流プロジェクト

実施日	実施校・参加人数	教育課程における位置付け	講師（敬称略）
9月30日	愛知産業大学三河高等学校 1,350名	学校行事	駐日トンガ王国特命全権大使 タニア・ラウマヌルペ・ツポウ
10月13日	北海道帯広三条高等学校 10名	総合的な学習 （修学旅行）	駐日欧州連合（EU）代表部 学術協力担当 広報部 リチャード・ケルナー

2. 2016年度 国際ユース作文コンテスト

ユネスコ・持続可能な開発のための教育（ESD）に関するグローバル・アクション・プログラム推進事業として実施

主 催 公益財団法人五井平和財団

後 援 文部科学省、日本ユネスコ国内委員会、NHK、日本経済新聞社、
日本私立中学高等学校連合会、東京都教育委員会

協 賛 フェリシモ株式会社

テーマ 『より良い未来をつくるための教育』

応募数 世界 153 の国と地域から合計 12,937 点
（子どもの部 4,353 点、若者の部 8,584 点）

授賞式 平成 28 年 1 月 29 日（火）日経ホール（東京都千代田区）

文部科学大臣賞（各 1 点）

＜子どもの部＞ジャングルを制する

スージャ（ソフィア）・リヤン（14 歳／中国（アメリカ在住）チェリー・ヒル・ハイスクール・イースト）

＜若者の部＞夢と豊かさ

小仁井 茅春（17 歳／東京都 杉並総合高等学校）

優秀賞 各 2 点
入 選 各 5 点
佳 作 各 2 5 点
学校奨励賞 4 3 校

■ 選考委員 委員長 千玄室（茶道裏千家前家元、ユネスコ親善大使）
西園寺昌美（五井平和財団会長）
鈴木斌（全国高等学校国語教育研究連合会顧問）
都倉俊一（作曲家、一般社団法人日本音楽著作権協会特別顧問）
松浦晃一郎（前ユネスコ事務局長）
美内すずえ（漫画家）
葉祥明（絵本作家）

敬称略・50音順

作文コンテスト受賞者による学校・大使館訪問

11月30日 東京都立杉並総合高等学校 スージャ（ソフィア）・リヤンさん

3. 地球っ子広場

(1) 地球っ子広場各地区展開

ユネスコ・持続可能な開発のための教育（ESD）に関するグローバル・アクション・プログラム推進事業として実施

- 活動趣旨 子どもたちが放課後や休日に、広く社会と触れ合える居場所を創設し、保護者、地域の人々が集う、良き地域コミュニティを目指し、生命・平和・環境等を大人と子どもが共に学ぶ広場を運営
- 後援 ユネスコ国内委員会
- 認定事業 ユネスコ本部より「ESDの10年の公式活動」認定を受ける
- 活動実績 ※詳細は、「平成28年度地球っ子広場事業報告」参照

No.	教室名	回数	備考
1	奥州	24回	
2	ピースらんど	12回	
3	仙台	12回	
4	五井	24回	
5	いすみ	6回	
6	船橋	5回	
7	自由が丘	4回	
8	豊田	12回	
9	さむかわ	12回	
10	新潟	36回	
11	宮のびのび	10回	
12	富士SUN山	24回	
13	きょう	12回	宇治市木幡公民館子どもの居場所づくり支援事業
14	タカラヅカ	40回	宝塚市桜台小学校、長尾台小学校で開催 宝塚市教育委員会助成事業
15	甲陽園	5回	甲陽園地区青年愛護協議会内組織
16	ユナイト(USA)	6回	カリフォルニア州サンリアンドロ市(USA)の自宅で開催
17	ラボラトリー・ディ・パーチェ(イタリア)	4回	マチェラータ県トレンティーノ市(イタリア)のマクロビオティック協会や書店とコラボレーションで開催

(2) 地球っ子キャラバン

東日本大震災の被災した子どもたちを支援するためのプロジェクト

- 6月8日(水) 学童保育「オレンジハウス」(福島県福島市)
参加した子ども30名の半数は原発事故避難者。読み聞かせと父の日のメッセージカードとプレゼント作り
- 9月10日(土) 増田西公民館(宮城県名取市)
被災地域の児童を対象に、読み聞かせ、味覚の実験。

(3) 地球っ子広場研修会

日時: 3月11日(土) 13:30~16:30

会場: ふじさんめっせ(静岡県富士市)

参加者: 9教室15名、オブザーバー8名、スタッフ4名参加

内容: 各広場からの活動報告、レクチャーとディスカッション(テーマ「いじめについて考える」)

4. ユネスコ活動・ESD（持続可能な開発のための教育）

(1) 持続可能な開発のための教育（ESD）に関するグローバル・アクション・プログラム（GAP）

- ① GAP パートナー・ネットワーク会合参加（ユネスコ・パリ本部）
- ② UNESCO ESD Youth Leadership Training のプログラム作成支援
- ③ UNESCO Week for Peace and Sustainable Development : The Role of Education(平和と持続可能な開発のためのユネスコ週間：教育の役割)会議参加（3月6日～10日カナダ・オタワ）
文部科学省および日本の GAP パートナー共同ブース出展
ダイアログ「21世紀の教師像」パネリスト参加
分科会 One World Compassion ワークショップ開催

(2) 社会起業家育成プログラム

ユネスコ・持続可能な開発のための教育（ESD）に関するグローバル・アクション・プログラム推進事業として実施

内 容：国連の持続可能な開発目標（SDGs）の達成に資するアイデアやプロジェクトを募り、若者の社会起業を奨励・育成するオンラインキャンパスおよびオンラインコンペティション

主 催：五井平和財団、スティブタンク・アントレプレナーシップ財団、デジタル・エキスパート・ユナイテッド

後 援：国連平和大学、国連グローバル・コンパクト PRME(Principles for Responsible Management Education)プログラム、国際労働機関 SIYB(Start and Improve Your Business)プログラム

資 格：15～35歳

期 間：1月～6月30日（木）

キャンパス参加者：受講者800名以上、登録2000名

コンペティション応募総数：ベスト・アイデア部門 1232件

ベスト・プロジェクト部門 645件

選考方法：ウェブサイト上で最多得票を集めたエントリーにピープルズ・チョイス賞を授与

得票数により、各部門上位10位までのファイナリストの中から選考委員が最優秀賞、2位、3位を選考

選考委員：ギュンター・ファルティン（ベルリン自由大学教授）

西園寺裕夫（五井平和財団理事長）

フランシスコ・ヨナス・アラヴェナ（国連平和大学学長）

ジョナス・ハートル（国連グローバル・コンパクト代表）

ヴァレリー・ロレーナ（ヤング・アメリカス・ビジネス・トラスト理事）

ラヴィ・チャウンドリー（シーネクスト・コンサルティング&インベストメント会長）

ニブン・メータ（サービス・スペース創設者）

授賞式：10月8日アントレプレナー・サミット（ベルリン自由大学）

受賞者：最優秀賞、2位、3位、ピープルズ・チョイス賞／各部門1点

<ベスト・アイデア部門>

1位 ソーラー・ランピュリファイア／アブダル・バーリィ（19歳/シンガポール）

ソーラーシステムのランプポストで雨水をため、ろ過して飲み水にし、夜は灯りとしても利用するアイデア

2位 ピーナッツミルクによる栄養失調予防／トラン・ダング（ベトナム）

ベトナムに豊富にあるピーナッツで安価なピーナッツミルクボックスを作り、ベトナムの貧困地域に配布して栄養失調を防ぐアイデア

3位・ピープルズ チョイス

WISE-UP：視覚障害者歩行支援機能付きバイザー／ラクシャヤ・パワン・シャム
(17歳/インド)

ウェブカメラ搭載のバイザーキャップで視覚障害者等の歩行を支援するアイデア

<ベスト・プロジェクト部門>

1位 プロジェクト・ディグニティ(尊厳)／ナターシャ・アニー・トンソラ(29歳/マラウイ)

ママ・アフリカ財団の活動で、環境に配慮した100%生物分解し、再生利用可能なサニタリー製品を提供することで、月経に対する文化の壁によって不登校、中退する女子を削減する取組み

2位・ピープルズ チョイス

ジョイデリイ・ソーラーバックパック／ディオディタス・グッドラック(23歳/タンザニア)

照明や充電器として使用できるソーラーパワー搭載のバックパックで、灯りを提供し、灯油の煙で呼吸器疾患を患う人も削減。

3位 科学への関心を喚起し、インド・アフガニスタンの教師をトレーニングする取組み

ラクシャヤ・パワン・シャム(インド)

設備などの不十分な小・中学校の教師にトレーニングを行い、入手が容易な材料でできる実験を学校に提供し、科学への関心を高め、学校間の格差を減らす取組み。

(3) 平成28年度日本／ユネスコパートナーシップ事業

事業名：第3回 ESD 日本ユース・コンファレンスの開催ならびにユース世代のプラットフォーム構築推進

主催：文部科学省、ユネスコ国内委員会、五井平和財団

共催：岡山市、岡山 ESD 推進協議会

後援：環境省、外務省、岡山県、岡山県教育委員会、岡山市教育委員会、倉敷市、倉敷市教育委員会、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟、公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター

協力：一般社団法人 グローバル教育推進プロジェクト (GiFT)

① 第3回 ESD 日本ユース・コンファレンス

日時：10月22日～23日

会場：サン・ピーチ OKAYAMA 会議室(岡山県岡山市)

参加者：18～35歳の ESD 実践者45名

・9月中旬からウェブサイト上で事前オンライン・ディスカッション

・10月22日(土)

出会う ESD 関係者と出会う

つながる 「自分史」「ESDに携わったきっかけ」を語る

私の活動紹介、ビジョンの共有

ネットワーキング夕食会

・10月23日(日)

つくりだす コラボカフェ

「私たちユースでどんなコラボができるか」

チームづくり、コラボレーション発表

岡山 ESD 推進協議会主催交流会

② ESD 日本ユース・プラットフォーム会合

日時：2017年1月28日（土）

会場：グランパーク プラザ会議室（東京都港区）

参加者：第1回～第3回 ESD 日本ユース・コンファレンス参加者とその協力者

・第3回コンファレンスで発足したコラボレーションチームからの進捗報告

・有志によるピア・ラーニングワークショップ

（ぶらっとフォーム～自分を発信、仲間を発見～）

・ダイアログ（未来を考える）

Ustream でライブ中継

(4) ユネスコスクール支援

千葉県立市川昂高等学校「開かれた学校づくり委員会」に委員として参加等

千葉大学・千葉県高等学校ユネスコスクール ESD 研究会後援ならびに協力

(5) ESD 岡山アワード

ESD 岡山アワードを運営委員会のメンバーとして、岡山市と共催、ならびに

アワード選考委員を担当

(6) 「国際フォーラム：ESD における「変容」「統合」「刷新」

～ユネスコ／日本 ESD 賞海外受賞者の実践に学ぶ」に協力

2017年1月24日 聖心女子大学宮代ホールで開催

附属明細書

平成28年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成29年4月

公益財団法人 五井平和財団